Technical Newsletter

#tnl2026-0018j

機械電源が ON の間はチラーを止めないでください
（DFL7340, DFL7341, DFL7360, DFL7360FH, DFL7361）

対象機種

DFL7340, DFL7341, DFL7360, DFL7360FH, DFL7361

はじめに

上記の対象機種は、レーザダイオードの ON/OFF にかかわらず、機械電源が ON の間は SD エンジン内部に通電箇所があり、発熱します。そのため、レーザダイオードを OFF にしても、チラーを稼働させ、SD エンジンを継続して冷却する必要があります。

機械のトラブルを防ぐため、機械電源が ON の間のチラーの取り扱い、および長期休業時の「ご注意いただきたいこと」について、以下にご案内いたします。

ご注意いただきたいこと

1. **機械電源が ON の間は、チラーへの冷却水の供給を遮断しないでください。**
   チラーへの冷却水の供給を遮断すると、チラーが停止します。チラーが停止した状態が続くと、SD エンジンの故障やレーザの光軸ずれが発生するおそれがあります。

2. **アラームが発生した場合は、原因を放置せず、必要な対処を行ってください。**
   アラームの原因に対処せず、機械電源を ON にしたまま放置すると、チラーが停止した状態が続き、SD エンジンの故障やレーザの光軸ずれが発生するおそれがあります。
   チラーを正常に稼働させることができないときは、機械電源を OFF にし、弊社カスタマーエンジニアまでご連絡ください。
   チラーの稼働状況は I/O チェック画面の『レーザ冷却フロースイッチ』で確認できます。I/O チェック画面については、メンテナンスマニュアルを参照してください。

3. **長期休業などで機械を使用しないときは、機械電源を OFF にしてください。**
   機械電源が ON の状態でチラーが停止すると、SD エンジンの故障やレーザの光軸ずれが発生するおそれがあります。

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当、またはカスタマーエンジニアまでお願いいたします。